



発展する組織・運営を考える

Open, Fair, Independent が
キーワード

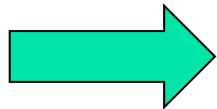
群馬大学大学院 工学研究科電気電子工学専攻
小林春夫

オープン性

組織発展のためには

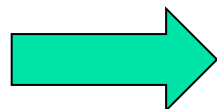
夏の暑い日、部屋に風が入ってくる。

風が逃げないように窓を閉める。



閉鎖的組織

より風が入ってくるようにさらに窓を開ける。



開放的組織



オープン性

世界の中心

ニューヨーク、マンハッタン

 世界の中心

人種のるつぼ、世界中から人が集まる。

歴史を振り返っても、世界の中心は
「純血主義」ではないことが多い。

公平性

特定グループの優遇人事

優遇されたグループ

→ 努力しない

優遇されないグループ

→ 反発、離れる。

人材集まらず、組織も活性化しない。

公平性

能力本位の人材登用

- 人材が集まる。
- 切磋琢磨する。

曹操、織田信長

門閥にとらわれず能力のある人材を登用

あえて自分の反対意見者を組織に取り込む。



公平性

三国志 曹操

人材コレクタ

「清平の奸賊、乱世の英雄」

劉備玄德のライバル

孫子の注釈

中国の3分の2を制す

門閥によらず人材を登用

人材が全国から集まる



戦国時代の領国経営

戦争多し、搾取

領民は逃げ出す



戦争は防衛戦のみ、税を安く

領国内の産業振興

他国からも流入、領民が増え国が繁栄

公平性、独立性

補助金はあくまで補助

「補助金は麻薬のようなもの。
一度もらい、
それが切れるとまたもらいたくなる。」

(有識者)

「補助金で栄えた産業なし」

(大前研一氏)

餌付けされた動物は野生では生きていけない。



独立性

福沢諭吉 「学問のすすめ」

社会的に自立するために学問

独立自尊

「独立の気力の無き者は必ず人に依頼す。
人に依頼する者は必ず人を恐る。
人を恐るる者は必ず人にへつらうものなり。」

独立性

研究教育機関の独立性

太平洋戦争前、日中の関係が良くないとき



日本政府が中国からの留学生を制限



早稲田大学は反骨精神で受け入れる



中国幹部に早稲田大学留学組が多く
同大学は中国で高い評価



留学生の受け入れ

米国は移民の国。

意欲ある能力が高い留学生を受け入れる。

(米国が)費用がかかる
が、自国に利益をもたらすことを
経験的に知っている。

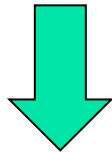
独立性

研究教育機関の独立性(2)

フンボルトの大学の理念

「学問の自由」「大学の自治」

その崇高さは理解できなくても



歴史を振り返れば、

研究教育機関の独立性が侵害され

機能が果たせなくなったことはいくつもある。

独立性

学問の独立性

曲学阿世 正学を務めて以って言い、
曲学を以て世に阿（おもね）ることなかれ。

（史記）

正しい学問を勉強して言うべきことを言い、
学問を曲げて世間におもねることをしては
ならない。



独立性

明治時代、大津事件

日本でのロシア皇太子への事件

犯人の裁判に対し、日本政府の関与を拒み
司法権の独立を貫く。



日本を学ぶ

日本人であることは日本を知っていることとは同義でない。

明治維新、日本式経済・経営、政治を
アジア諸国は必至に学ぶ

現在の日本人は
日本人であるという心地よさに酔っていて、
日本を学んでいるか。



明治時代、近代日本の創設

前島密(まえじまひそか) 郵便

大津事件 司法権の独立

東郷平八郎 日本海海戦勝利

新島襄 同志社大学

渋沢栄一 銀行

福沢諭吉 独立自尊

大隈重信 鉄道

ジョセフ彦 (浜田彦蔵) 新聞

森有礼 初代文部大臣

日比翁助 百貨店の創設



組織敗北の法則

孫子に学ぶ

「走」(そう): 力が分散し集中してない。

「弛」(し): 将の能力が劣る。

「陷」(かん): 兵に実力が無い。

「崩」(ほう): 将が勝手な行動をとる。

「乱」(らん): 軍の統制・規律がない。

「北」(ほく): 無勢で多勢に、弱小で強敵にあたる。
重要でないところに力を注いでいる。



まとめ

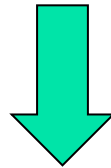
組織発展、強い組織作りのためには

- Open, Fair, Independent がキーワード
- 歴史に学び、世界を見る。
- （観念的な議論ではなく）
現実にもうまくいくかどうか重要。

観念的な議論ではなく
現実はどうかが重要

かつて

「国税で運営されている国立大学が
特定の民間企業と共同研究するのは
適切ではない」の意見強し。



現在（実際にやってみると）

産学連携により大学は大きな成果、
日本社会に大きく還元できることが多い。



「官」に注意

「官は民が苦勞して築いたものを、
横からさっと持っていく」(民間有識者)

「官はカネ(補助金)をちらつかせて
手柄を横取りしていく」(大学有識者)